

行政視察報告

視察日時	令和5年11月7日（火） 13:30～
視察場所	岐阜県美濃加茂市
視察項目	コミュニティバス「あい愛バス」について
視 察 者	常任委員会委員8名 同行当局職員1名 事務局職員1名
視察概要	<p>美濃加茂市では、コミュニティバス「あい愛バス」が9路線18コース運行しており、市内の全地域に路線が網羅されている。運行車両は、路線により市街地を循環するバス車両と各地域支線のワゴン車両の2種類あり、赤い車両に大きな黄色のハートマークが目立つ、親しみやすいデザインになっている。また、一般100円・中学生無料という料金設定や路線ごとに色分けされるなど、市民が利用しやすい工夫がされている。また、一部路線では、乗客が自由に乗り降りできる「どこでも乗降区間」が設定されている。</p> <p>「車+バス」文化の定着を狙い、利用者のニーズに合わせた路線やダイヤの改正、利用を促進するイベントなどを行い、平成28年度と令和4年度の利用者数を比較すると約7.9倍まで増加している。一方で、バス停が遠い、乗り換えが大変などの市民の声もあり、朝夕の通勤・通学の利用が多い時間帯は定時路線を維持しながら、高齢者の利用が多い昼間には、利用者の希望時間に合わせて乗合を発生させるAIオンデマンド交通システムの導入に向けて、実証運行の検討が行われている。</p>
本市に生かせる視点	<p>利用者数に合わせたバスやワゴンなどの車両が利用され、市民に愛着を持ってもらえるようなデザインになっている。また、利用者が区別しやすいように路線ごとに色分けする工夫は本市でも参考になり、一般100円・中学生以下無料という料金設定も魅力的だった。</p> <p>さらに、市民がバスに親しめるイベントを積極的に実施し、「車+バス」の文化の定着を目指している。</p> <p>また、通勤・通学の利用者数が見込める朝夕の時間帯は定時路線とし、高齢者の利用が多い昼間は、利用したい時間に利用できるAIオンデマンド交通システムとすることについては本市でも検討する必要があると考える。</p>